

心理学的支援法

《担当者名》関口 真有 (sekiguchi@hoku-iryu-u.ac.jp)

【概要】

公認心理師は、医療や福祉、教育、司法、産業と様々な現場での活躍が期待されている。公認心理師に求められている業務内容として、心理に関する支援を要するものに対し、その心理に関する相談に応じ、助言・指導、その他の援助を行うことが明記されている。本講義では、心理学的支援法 に続き、認知行動療法を中心に、様々な技法、支援の方法について理解を深める。また、支援を行う上で基本となる治療関係の構築に必要なコミュニケーションについても学ぶ。

【学修目標】

認知行動療法の歴史、概念、意義とその適応や限界を理解する。
 様々な問題について、認知行動的視点から理解する。
 訪問による支援や地域支援について理解する。
 良好な人間関係を築くためのコミュニケーションの能力を身に付ける。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	認知行動療法	行動活性化療法について学ぶ。	関口 真有
2	認知行動療法	問題解決療法について学ぶ。	関口 真有
3	認知行動療法	リラクゼーション法について学ぶ。	関口 真有
4	認知行動療法	認知療法について学ぶ。	関口 真有
5	認知行動療法	不眠症に対する認知行動療法 (CBT-I) について学ぶ。	関口 真有
6	認知行動療法	アサーションについて学ぶ。	関口 真有
7	認知行動療法	ソーシャルスキルトレーニングについて学ぶ。	関口 真有
8	認知行動療法	子どもに対する認知行動療法について学ぶ。	関口 真有
9	認知行動療法	弁証法的行動療法について学ぶ。	関口 真有
10	認知行動療法	パニック症に対する認知行動療法について学ぶ。	関口 真有
11	認知行動療法	強迫症に対する認知行動療法について学ぶ。	関口 真有
12	訪問による支援や地域支援	訪問による支援や地域支援について学ぶ。	関口 真有
13	援助的コミュニケーション	援助的コミュニケーションのスキルについて学ぶ。	関口 真有
14	援助的コミュニケーション	援助的コミュニケーションスキルについて学ぶ。	関口 真有
15	治療関係	これまでのまとめを行うとともに、全ての心理学的支援に共通する治療関係について学ぶ。	関口 真有

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

講義内で行う個人ワークや感想 (google form) への感想：20%、期末試験：80%で評価を行う。

【教科書】

適宜、プリントを配布する。

【参考書】

杉原 保史 (著, 編集), 福島 哲夫 (著, 編集), 東 斉彰 (著, 編集)「公認心理師標準テキスト 心理学的支援法」(北大路書房)

坂野雄二 (1995) 認知行動療法 日本評論社

坂野雄二 (2011) 認知行動療法の基礎 金剛出版

鈴木 伸一 (著), 神村 栄一 (著), 坂野 雄二 (監修) (2005) 実践家のための認知行動療法テクニックガイド: 行動変容と認知変容のためのキーポイント

下山晴彦, 佐藤隆夫, 本郷一夫 (監修) (2023) 公認心理師スタンダードテキストシリーズ 心理学的支援法

著者 S.ムーリー 編 A.ラベンダー 編 鈴木 伸一 監訳 (2020) 認知行動療法における治療関係

2023/6/6 ニコラウス・カザンツィス (著), フランク・M・ダッティリオ (著), キース・S・ドブソン (著), 坂野 雄二 (監修) (2023) 認知行動療法と治療関係: 臨床家のためのガイドブック

【備考】

Google classroomにおいて、適宜授業資料を配信する。

Google formを利用した個人ワーク講義内で実施することがある。

Google formで毎回講義で考えたことや気づきなど、振り返りを行っていただく。

【学修の準備】

予習: シラバスの記載内容を参考に、参考図書、関連図書などを用いて講義内容を予習すること (30分)

復習: 復習問題に正解できるように、前回の講義内容を復習しておくこと (1時間)

公認心理師科目でもあるため、今後の演習や実習に向けた準備として、授業内容を踏まえて自分自身でさらに参考図書などで知識を深めてほしい。

日常生活における自分自身の体験や周囲の出来事と関連づけられながら、実感を伴った理解を心がけてほしい。

【ディプロマ・ポリシー (学位授与方針) との関連】

DP4: 公認心理師の活動に関連する知識・技能を修得している。

DP5: 対人支援における多職種連携の重要性を認識している。

上記、心理科学部ディプロマ・ポリシーに適合している。

【ICTの活用】

学習教材 (授業資料) の配信や学習課題の提示においては、Google Classroomを利用する。

【実務経験】

関口 真有 (臨床心理士/公認心理師)

【実務経験を活かした教育内容】

これまでの公認心理師としての臨床経験、研究成果、社会活動に基づき、臨床現場で必要とされる基本的な知識からその応用までを修得できるような講義を展開する。